

公立高校入試情報 宮城県

【国語】

令和3年度宮城県入試の全体傾向

大問1 漢字・語句・表現

大問2 小説 大崎 梢 「彼方のゴールド」

大問3 論説文 好井裕明 「違和感から始まる社会学」

大問4 古文 宗長 「連歌比況集」

大問5 課題作文

大問5題の構成で、漢字や語句、表現など、幅広い分野から問題が出題されており、国語の総合的な能力をはかる入試となっている。

■文章記述問題の対策

全体的な傾向として記述力を重視した出題が多い。指定字数が多い設問も複数問出題されるなど、文章を正確に読み取ったうえで、要点を過不足なくまとめることができる記述力が求められている。日頃からさまざまな類題に取り組んで、記述力を高めておきたい。

■表現に関する問題の対策

大問1では、校内の緑化活動に関するプレゼンテーションに向けた話し合いと進行案が示されたうえで、表現問題が出題されている。話し合いの中での発言の工夫や役割など、コミュニケーションにおける基本的なポイントが問われている。類題に当たって、対策しておきたい。

★宮城県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
言語	漢字を学ぶ	●	●	●	●
	熟語を学ぶ	●	●	●	●
	語句を学ぶ		●	●	●
現代文	文脈で語句の意味を考える	●			
	場面をとらえる		●	●	
	心情をとらえる	●	●	●	●
	行動の理由・人物像をとらえる	●	●	●	●
	文章中の表現を味わう	●	●	●	
	主題を考える		●	●	
	話題・情報をとらえる	●	●	●	
	指示語・接続語をとらえる		●		●
	文章を解釈する	●	●	●	●
	段落構成をとらえる		●		
	要旨をとらえる	●	●	●	
古典	古文の基礎を学ぶ	●	●	●	●
	古文を味わう		●	●	●
	漢詩・漢文を味わう	●			
詩歌	詩を味わう				
	短歌を味わう				
	俳句を味わう				
文法	文の組み立てを知る	●			
	自立語を学ぶ	●	●		
	付属語を学ぶ				
表現	敬語を使いこなす	●			
	コミュニケーションの方法を学ぶ	●	●	●	●
	課題作文を書く	●	●	●	●
	聞き取り				
別出の題傾向式	大問数	5	5	5	5
	小問数	38	31	31	31
	記号解答	16	12	10	13
	記述式解答(漢字の読み書きも含む)	22	19	21	18